

平成13年度 GAME 国内集会プログラム

<日程>

平成14年1月8日(火) 9時～ 研究集会
 　　18時～ 懇親会(会費、一般：5,000円、学生：3,000円)
 1月9日(水) 9時～ 研究集会
 　　17時～ 科研代表者会議
 (1月7日(月)夕方 各班会議)

<会場>

京大会館1階大会議室
 京都市左京区吉田河原町15-9、電話：075-751-8311

[交通]

- ・京都駅より市バスD2のりば 206系統 京大正門下車 徒歩約10分
- ・京阪電車丸太町駅下車 徒歩約10分

1月8日(火)

9:00-9:05 挨拶など(福島事務局長)

9:05-9:35 GAME活動(座長:福島)

9:05-9:25 GAMEの活動(安成)

9:25-9:35 GAME-ISP報告(中村)

9:35-11:10 セッション1 「熱帯・亜熱帯地域の降水システムと降水機構」(座長:藤吉)

上田 博(名大・水循環研究センター):

「梅雨前線上に発生した降水システムの特徴(仮題)」

河谷芳雄・高橋正明(東大・CCSR):

「水平鉛直高解像度AGCMに現れた梅雨前線活動の解析」

坪木和久(名大水循環研究センター):

「梅雨前線周辺の大気場と降水システム」

奥村晃治・里村雄彦(京大・理)・沖 大幹(東大・生産研):

「モンスーン下の東南アジアにおける降水日変化」

討議

11:20-12:05 セッション2 「アジアモンスーン域の気候変動と水資源」(座長:沖)

鬼頭昭雄(気象研)

「地球温暖化とアジアモンスーン域の水資源」

風間 聰(東北大・工)

「メコン川流域の水資源評価に関する基礎的研究」

討議

12:05-12:55 (休憩・食事)

12:55-13:55 セッション3 「大陸スケールのエネルギー・水循環と再解析データの利用」(座長:山崎)

安成哲三(筑波大・地球科学):

「IOP'98期間中におけるチベット高原上での対流活動と 中国梅雨前線上の豪雨との関連について—高解像再解析データによる解析」

山崎信雄(気象研):

「GAME再解析を用いた中国における日変化の解析」

谷田貝 亜紀代(京大・防災研):

「GAME再解析プロダクトによる水・エネルギー循環評価 - 積雪情報の改良の効果 - 」

討議

13:55-16:05 セッション4 「アジアモンスーン地域における陸面熱・水収支」(座長:浅沼・田中賢治)

増田耕一(地球フロンティア):

「大河川流域の水収支項の季節変化」

立川康人、シュレスター、市川温、椎葉(京大・工):

「GAME 再解析データを用いた淮河流域の河川流量の推定」

14:25-14:35 (休憩)

馬 変跳(地球フロンティア):

「寒冷地域水文モデリングに関する研究」

田中賢治(京大・防災):

「淮河流域の水・熱フラックス分布」

小池俊雄・渡辺亮太・陽坤・玉川勝徳(東大院・工):

「チベットメソ領域のフラックス分布とその季節変化」

高藪 出(気象研)・高田久美子・山崎 剛(地球フロンティア)・石川裕彦(京大・防災)・塙本 修(岡山大・理)・Joon Kim(韓国延世大):

「GAME/Tibet IOP98 3地点データを用いた4陸面水文過程モデルによるシミュレーション」

小池俊雄・仲根理史・谷口健司(東大院・工)・萩野谷成徳(気象研):

「チベット高原におけるフラックスと大気加熱の関連性」

討議

16:05-16:15 (休憩)

16:15-17:40 セッション5 「熱帯林と北方林でのエネルギー・水循環特性の比較」(座長:太田)

鈴木雅一(東大・農):

「熱帯林・温帯林・寒帯林におけるフラックス季節変化要因の差異」

太田岳史(名大・農):

「既存研究からみた熱帯林・北方林における鉛直1次元スケールでの水・エネルギー・フラックスの相違」

田中克典(地球フロンティア):

「シベリア・カラマツ林とタイ・常緑樹林のエネルギー収支の比較」

太田岳史(名大・農)・鈴木雅一(東大・農):

「熱帯林・北方林のcross cutの今後の予定」

討議

18:00-20:00 懇親会

1月9日(水)

9:00-10:15 セッション6 「寒冷圏水・エネルギー循環」(座長:大畠)

太田岳史(名大・農):

「スパスカヤパッド、カラマツ林、アカマツ林における水循環特性」

矢吹裕伯(地球観測フロンティア)・児玉裕二(北大・低温研):

「レナ川下流域付近のツンドラにおける水文気象要素の年々変動」

山崎 剛(東北大・理)・高田久美子・本谷 研(地球フロンティア):

「積雪モデルの国際比較 SmowMIP の現状報告」

高田久美子・馬 変跳(地球フロンティア):

「寒冷圏の流域における陸面水文モデルの相互比較 PILPS 2(e) について」

討議

10:15-10:25 (休憩)

10:25-11:40 セッション7 「アジアモンスーンのオンセットと季節進行」(座長：里村・萩野)

川村隆一(富山大・理):

「オーストラリアモンスーンのオンセットのメカニズム(招待講演)」

松本 淳・木口雅司(東京大・理):

「インドシナ半島における雨季とモンスーンのオンセット」

鼎 信次郎・沖 大幹・虫明功臣(東大・生産研):

「GCM 実験による東南アジアモンスーンオンセットの解明へ向けて」

萩野慎也(神戸大・自然科学)・立花義裕(東海大・総合教育)・菊池文孝・野津雅人(神戸大・自然科学)・東永祥・蒲田義紀・上明戸優子(東海大・理):

「乾期インドシナ半島に現われる温度逆転層がモンスーン移行に果たす役割」

討議

11:40-12:30 (昼食)

12:30-13:30 セッション8 「アジア域水循環のモデリング」(座長：鬼頭)

住 明正(東大気候システム研究センター):

「1998年夏のモンスーンシミュレーション」

木村富士男(筑波大陸域環境研究センター)・吉兼隆生・S.D.Kang(地球フロンティア):

「夏のアジア域水循環によよぼす海陸分布および山岳の役割」

小池俊雄・楊大文・陽坤・広瀬望・Petra Koudelova・Mahadevan Pathmathevan(東京院・工)・李新(寒冷乾燥域環境技術研究所):

「チベット高原での陸域水循環モデルの統合化」

討議

13:30-15:00 セッション9 「衛星データ利用」(座長：中村)

小池俊雄・藤井秀幸・玉川勝徳・Mahadevan Pathmathevan(東大院工):

「衛星データの統合的利用によるチベット高原での陸域水循環解析」

広瀬正史・中村健治(名大・水センター):

「TRMM衛星によるアジアの降雨プロファイル特性」

中村健治(名大・水センター) 遠藤洋和(気象庁):

「TRMM衛星によるアジア域の降水の日周変化」

猪飼純二・中村健治(名大・水センター):

「マイクロ波放射計とレーダによる海上降水強度の推定比較」

児玉安正(弘前大学理工学部) 石塚昌範・川村幸枝・山田琢哉(弘前大学・理)

「TRMM多重センサー観測データによるメソ降雨系の解析」

討議

15:00-15:10 (休憩)

15:10-16:30 GAME Phase-2 およびポスト GAME に向けて(座長：未定)

・GAME-Phase2 の概要(安成)

・GAME phase-2 およびポスト GAME の展開について

CEOP/IGOS-P(小池)・GEWEX関連(沖・藤吉)・CliC(大畠)・

GPM衛星計画(中村)・IGBP/Fluxnet関連(福島)

国際的な水資源研究計画(竹内・山梨大・工)・その他

・討論とまとめ

16:30-16:50 招待研究者からの総評、コメントなど

16:50-16:55 挨拶(安成)

17:00-18:00 科研代表者会議